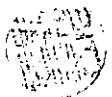







通告者氏名 内場 恭子

| | | |
|---|---|--------------------------------------|
| 議長印 |  | 平成 27年 11月 25日 午前・午後 10時 40分受付 |
| 一 般 質 問 通 告 書 | | |
| 答弁を求める者 | 市長 | |
| <p>古賀市議会会議規則第62条第2項の規定により通告します。</p> <p>平成 27年 11月 25日</p> <p>古賀市議会議長 様</p> <p style="text-align: right;">古賀市議会議員 内場 恭子 </p> <p style="text-align: center;"></p> | | |




| | |
|---|-----------------|
| 質問事項 (1件ごと) | マイナンバー制度の利用をやめよ |
| 質問の要旨 (300字以内) | |
| <p>国民一人ひとりに個人番号(マイナンバー)をつけ、行政などが個人情報を活用しようという制度です。国民の利便性を高め、行政の効率性を高めるとしているが、個人情報漏洩の危険性や不安が指摘されている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 古賀市でのマイナンバー制度はどのような状況か。 2. 「住基ネット」との違いは何か。 3. マイナンバー制度を利用する市民のメリット、デメリットは、地方自治体のメリット、デメリットはどのようなものか。 4. マイナンバーで管理される個人情報はどこまで拡大されるのか。その危険性はどうか。 5. 市民や事業者への説明は十分か。個人情報は守られるのか。 | |

通告者氏名 内場 恭子




| | | |
|---|---|---|
| 議長印 |  | 平成 27 年 11 月 25 日 午前・午後 10 時 40 分受付 |
| 一 般 質 問 通 告 書 | | |
| 答弁を求める者 | 市長 | |
| <p>古賀市議会会議規則第62条第2項の規定により通告します。</p> <p>平成 27 年 11 月 25 日</p> <p>古賀市議会議長 様</p> <p style="text-align: right;">古賀市議会議員 内場 恭子 </p> <p style="text-align: center;"> 議会事務局 27.11.25 収第 2-2 号</p> | | |

| | |
|--|--------------|
| 質問事項 (1件ごと) | より使いやすい公共交通を |
| 質問の要旨 (300字以内) | |
| <p>高齢者、交通弱者が元気に生活し続けることは、古賀市の活性化やまちづくりに繋がる。若者や子育て世帯の転入や少子化対策などにも役立ち、人口増を図ることもできる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公共交通の現状への市長の見解はどうか。 2. 高齢化・少子化対策、人口増対策として、古賀市の公共交通への施策をどう評価するのか。今後の取組はどうか。 3. 市民の要望の把握はできているのか。 4. 西鉄バスの便数が少ない。利用したくても公共交通機関やバスがないなど困っている方たちへの対応はどうか。 5. 70歳以上への西鉄バスのグランドパス65購入の補助の評価と今後はどうか。 | |




通告者氏名 内場 恭子

| | | |
|--|---|----------------------------------|
| 議長印 |  | 平成27年11月25日 午前・午後 10時40分受付 |
| 一 般 質 問 通 告 書 | | |
| 答弁を求める者 | 市長 | |
| <p>古賀市議会会議規則第62条第2項の規定により通告します。</p> <p>平成 27年 11月 25日</p> <p>古賀市議会議長 様</p> <p style="text-align: right;">古賀市議会議員 内場 恭子 </p> <p style="text-align: center;"> 議会事務局 27.11.25 収第 2-3号</p> | | |

| | |
|--|------------------|
| 質問事項 (1件ごと) | 自然再生エネルギーの活用を進めて |
| 質問の要旨 (300字以内) | |
| <p>自然再生エネルギーの活用は、東日本大震災の原発事故後、大きく注目されている。循環型社会構築のためにも、太陽光発電や再生可能資源を利用した発電、エネルギーの確保が求められている。</p> <p>そこで、市長選挙の公約であるバイオマス発電の計画はどのように進んでいるのか。自然再生エネルギーの活用をどう進めようとしているのか。</p> | |




| | | |
|---|---|--|
| 議長印 |  | 平成 27 年 11 月 25 日 (午前)・午後 11 時 56 分 受付 |
| 一 般 質 問 通 告 書 | | |
| 答弁を求める者 | 市長 | |
| <p>古賀市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により通告します。</p> <p>平成 27 年 11 月 25 日</p> <p>古賀市議会議長 様</p> <p style="text-align: right;">古賀市議会議員 清原 哲史 </p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> | | |

| | |
|--|---------------|
| 質問事項 (1 件ごと) | 古賀市の水道事業は大丈夫か |
| 質問の要旨 (300 字以内) | |
| <p>いつ、どこにいても手に入る安全できれいな水。</p> <p>レストランなどで出される水は、すべて無料。海外では考えられないことです。しかし、世界一とされた日本の水道が、危機を迎えています。</p> <p>2014 年 10 月に放映されたクローズアップ現代は、水道管の老朽化と人口減少の時代を迎え、水道事業をどう維持していくのか。「押し寄せる老朽化 水道クライシス」と題し、苦悩する現場の実態を伝えております。</p> <p>国は、昨年全国の自治体に対し、水道管の更新計画を立てるように求め、水道料金の見直しや設備の廃止や統合、民営化などを検討することを求めています。</p> <p>古賀市の水道事業の見通しについて、市長のご所見をお伺いします。</p> | |

| | | |
|--|---|------------------------------------|
| 議長印 |  | 平成27年11月25日 (午前)・午後 11時56分受付 |
| 一般質問通告書 | | |
| 答弁を求める者 | 市長 | |
| <p>古賀市議会会議規則第62条第2項の規定により通告します。</p> <p>平成 27 年 11 月 25 日</p> <p>古賀市議会議長 様</p> <p style="text-align: right;">古賀市議会議員 清原 哲史 </p> <p style="text-align: center;"></p> | | |




| | |
|---|--------------|
| 質問事項 (1件ごと) | 新たな公共交通網の整備を |
| 質問の要旨 (300字以内) | |
| <p>「買い物や病院に行くとき、タクシーを使わなければならないと経済的負担が大きい何とかならないか。」「隣の福津や新宮には、コミュニティバスが走っているのに、なぜ古賀は走らないのか。」など、新たな公共交通の導入を求める市民の声がある。</p> <p>公共交通活性化委員会の検討は、西鉄バスありきであり、コミュニティバスの導入に対する強い要望があることは認めつつも、多額の経費やすべての問題を解決する手段ではない。としており、十分な検討を加えたとは言い難い。</p> <p>利便性向上させ外出促進を図ることにより、健康寿命延伸にもつながるコミュニティバス又は、デマンドバスを導入すべきと考えるが、市長のご所見をお伺いいたします。</p> | |

通告者氏名 姉川さつき

| | | |
|--|---|--|
| 議長印 |  | 平成 27 年 11 月 25 日 午前・午後 4 時 00 分受付 |
| 一 般 質 問 通 告 書 | | |
| 答弁を求める者 | 市長・教育長 | |
| <p>古賀市議会会議規則第62条第2項の規定により通告します。</p> <p>平成 27 年 11 月 25 日</p> <p>古賀市議会議長 様</p> <p>古賀市議会議員 姉川さつき </p> <p style="text-align: center;"> 議会事務局 27.11.25 収第 4 号</p> | | |




| | |
|--|--------------------------|
| 質問事項 (1件ごと) | 文科省通達等による教育現場への影響と対応について |
| 質問の要旨(300字以内) | |
| <p>平成20年3月に「新中学校学習指導要領」の公示が出され、平成24年度から、義務教育における「中学校の武道必須化」が実施された。また、来年度より選挙の参政権が18歳に引き下がったことを受け、文科省から関連した通知も来ている。効果や現状、または今後の取り組みを問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、授業で武道の必須化を取り入れた効果は。 2、弓道の授業での教師の育成は。 3、中学の教科書「公民」において、生徒の政治への理解は進んでいるのか。 4、文科省より、高等学校等における政治的教養の教育に関し通知が来たが、その対応は。 | |

通告者氏名 田中 英輔




| | | |
|--|---|----------------------------------|
| 議長印 |  | 平成27年11月27日 午前・午後 9時 15分受付 |
| 一 般 質 問 通 告 書 | | |
| 答弁を求める者 | 市長 教育長 | |
| <p>古賀市議会会議規則第62条第2項の規定により通告します。</p> <p>平成 27年 11月 27日</p> <p>古賀市議会議長 様</p> <p style="text-align: right;">古賀市議会議員 田中 英輔 </p> <p style="text-align: center;"> 議会事務局 27.11.27 収第 5-1 号</p> | | |

| | |
|---|-----------------------|
| 質問事項 (1件ごと) | 子どもたちの今と 未来を支えるために |
| 質問の要旨 (300字以内) | |
| <p>日本の子どもの貧困率は16.3%と6人に1人が貧困とされる水準になっている。このような状況の中で2013年「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が制定されている。古賀市の現状と取り組みについて以下の質問をする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、 古賀市の子どもの貧困の状況をどのように把握しているか。 2、 必要な人が利用を検討しやすい就学援助にどのような対応を行っているか。 3、 支援を必要とする子どもに地域での学習支援の場の拡充を。 4、 生活の基本となる雇用対策の充実はどう取り組むか。 | |




通告者氏名 田中 英輔

| | | |
|---|---|---------------------------------|
| 議長印 |  | 平成27年11月27日 午前・午後 9時15分受付 |
| 一般質問通告書 | | |
| 答弁を求める者 | 市長 | |
| <p>古賀市議会会議規則第62条第2項の規定により通告します。</p> <p>平成 27 年 11 月 27 日</p> <p>古賀市議会議長 様</p> <p style="text-align: right;">古賀市議会議員 田中 英輔 </p> <p style="text-align: center;"> 議会事務局 27.11.27 収第5-2号</p> | | |




| | |
|--|-------------------|
| 質問事項 (1件ごと) | まちの環境づくり・維持に市民参加を |
| 質問の要旨 (300字以内) | |
| <p>「美しいまちづくりプラン」や「第2次古賀市環境基本計画」が策定され、環境や景観の維持が掲げられたが。行政による年数回の手入れや、市民が行う「道路・環境美化」の活動によりおこなわれている状況である。「まちづくりプラン」や「第2次古賀市環境基本計画」「第4次総合振興計画」を活かし、まちの環境づくり・維持に市民参加をどう進める考えか。</p> | |

| | | |
|---|---|--|
| 議長印 |  | 平成 27 年 11 月 27 日 午前・午後 10 時 35 分 受付 |
| 一 般 質 問 通 告 書 | | |
| 答弁を求める者 | 市 長 | |
| <p>古賀市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により通告します。</p> <p>平成 27 年 11 月 27 日</p> <p>古賀市議会議長 様</p> <p style="text-align: right;">古賀市議会議員 平木 尚子 </p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> | | |




| | |
|---|-------------------------------|
| 質問事項 (1 件ごと) | 古賀市のバイオマス発電の取り組み はどう進んでいるか |
| 質問の要旨 (300 字以内) | |
| <p>今年の市長の所信表明や、『施政方針』の中に、古賀清掃工場の契約期限を控え、環境の負荷の低減ができるバイオマス発電を研究し、脱焼却をめざす、とある。それをふまえ、以下質問する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現在、取り組み等については、どのように、また、どこまで進んでいるのか。 2. 今後の予定は。 | |

| | | |
|--|---|----------------------------------|
| 議長印 |  | 平成27年11月27日 午前・午後 10時35分受付 |
| <h1>一般質問通告書</h1> | | |
| 答弁を求める者 | 市長・教育長・選挙管理委員会委員長 | |
| <p>古賀市議会会議規則第62条第2項の規定により通告します。</p> <p>平成 27 年 11 月 27 日</p> <p>古賀市議会議長 様</p> <p style="text-align: right;">古賀市議会議員 平木 尚子 </p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> | | |




| | |
|---|-----------------------------|
| 質問事項 (1件ごと) | 新たな選挙制度を迎え、投票率向上の取り組みをどうするか |
| 質問の要旨 (300字以内) | |
| <p>投票率が低下傾向にあるなか、18歳選挙権の導入、古賀市においては、投票当日の時間短縮と、新たな選挙制度を迎えることとなった。有権者が投票しやすい環境を整えたり、さらに政治に関心をもっていただくことはだいじなことである。それをふまえ、以下、取り組みを問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高校生を含めた18歳選挙権の導入で、若者に関心をもってもらうための取り組みは。 2. 投票当日の終了時間が早くなったことで、市民への周知をどのようにしていくか。 3. 今後、投票率を上げていくための具体的な取り組みは。 | |

| | | |
|--|---|-------------------------------------|
| 議長印 |  | 平成 27年 11月 27日 午前・午後 0時 40分受付 |
| 一 般 質 問 通 告 書 | | |
| 答弁を求める者 | 中村隆象市長 | |
| <p>古賀市議会会議規則第62条第2項の規定により通告します。</p> <p style="text-align: center;">平成 27年 11月 26日</p> <p>古賀市議会議長 様</p> <p style="text-align: right;">古賀市議会議員 福崎 智之 </p> <p style="text-align: center;"> 議会事務局 27.11.27 収第7号</p> | | |

| | |
|---|--------------------------------------|
| 質問事項 (1件ごと) | 西鉄宮地岳線跡地の活用について (イメージとビジョンとプロダクト) |
| 質問の要旨 (300字以内) | |
| <p>うみ、まち、さと、やま。</p> <p>古賀市の4つに分けられるエリア。</p> <p>食品加工団地、薬王寺温泉、グリーンパーク、商店街、そのエリアの中のスポットエリア。</p> <p>ビーチフェスタ、夜市、なの花祭り、市民ウォーキング、地域カラーを活かした地域イベント。</p> <p>古賀市には個性的なゾーンがあります。</p> <p>現在の古賀市は市長の目にどう映っているか？</p> <p>①市長が感じている“今”の古賀市のイメージと“これから”の古賀市のイメージを聞かせてください。</p> <p>まちエリアの中でもメインスポットとなる、また古賀市の名所にもなるポテンシャルを持つ西鉄宮地岳線跡地の利用について</p> <p>②西鉄宮地岳線跡地の“活用”をどう考えるか？</p> <p>以上、イメージ溢れる回答をお願いします。</p> | |




| | | |
|---|---|--|
| 議長印 |  | 平成 27 年 11 月 27 日 午前・午後 0 時 4 / 分 受付 |
| 一 般 質 問 通 告 書 | | |
| 答弁を求める者 | 市 長 | |
| <p>古賀市議会会議規則第62条第2項の規定により通告します。</p> <p>平成 27 年 11 月 27 日</p> <p>古賀市議会議長 様</p> <p>古賀市議会議員 渡 孝 二 </p> <p style="text-align: center;"> 議会事務局 27.11.27 収第 8 号</p> | | |

| | |
|--|--------------------|
| 質問事項 (1件ごと) | 古賀市の将来をどのように導かれるのか |
| 質問の要旨 (300字以内) | |
| <p>中村市長は、古賀市への10の想いという形容で公約を掲げ、4期目のご当選を果たされました。</p> <p>1年を経過する今、公約と施政方針から地方創生も絡め、以下質問いたします。</p> <p>①玄望園、インターチェンジ周辺など開発の進捗状況と今後の取組みを具体的に示されたい</p> <p>②豊かな自然環境を享受するためには、公益的機能を有する農業の重要性に言及しておられますが、農業経営の安定化策と中山間地域の生活環境整備をどう進めるのか</p> <p>③大根川水系に清流を呼び戻すことを明言しておられますが、その対策と現況は</p> <p>④地方創生の実現に向けては、安定した行財政の確保と市民福祉の上に成り立つと思うが、水道料金の30%値下げの真意と経過は</p> | |




| | | |
|--|---|--|
| 議長印 |  | 平成27年11月27日 午前・ 午後 1時 00分受付 |
| 一般質問通告書 | | |
| 答弁を求める者 | 市長 | |
| <p>古賀市議会会議規則第62条第2項の規定により通告します。</p> <p>平成27年11月27日</p> <p>古賀市議会議長 様</p> <p style="text-align: right;">古賀市議会議員 井之上 豊 </p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> | | |

| | |
|---|------------|
| 質問事項 (1件ごと) | 誰もが住みたい街作り |
| 質問の要旨 (300字以内) | |
| <p>誰もが住みたいと、言われる古賀市を作る為、まず考えるのが市民に対する医療保護、身障者の生活を安定させる仕事、職場の環境づくりの件です。今、目の前であるのが、高齢者に対するインフルエンザの予防接種が他の地域より高いと市民の方からの意見、又、ピロリ菌の検査、除菌の補助は今後どうするのか。それから、色々な立場の身障者の方がおられます。生まれつきの方、不慮の事故で体が不自由になられた方、病気が原因の方等様々です。こういった、方々が生活を守る為仕事、職場の環境を市として、どうするのか。以上の点を質問致します。</p> | |




通告者氏名 阿部友子

| | | |
|--|---|---------------------------------------|
| 議長印 |  | 平成 27年 11月 27日 午前・午後 1 時 20 分受付 |
| 一 般 質 問 通 告 書 | | |
| 答弁を求める者 | 市長 | |
| <p>古賀市議会会議規則第62条第2項の規定により通告します。</p> <p>平成 27 年 11 月 27 日</p> <p>古賀市議会議長 様</p> <p>古賀市議会議員 阿部 友子 </p> <p style="text-align: center;"> 議会事務局 27.11.27 収第 10 号</p> | | |




| | |
|--|--------|
| 質問事項 (1件ごと) | 川を川らしく |
| 質問の要旨(300字以内) | |
| <p>大根川は、古賀市内だけで完結する川で、いわば古賀市独自の財産といえます。ところがこの川が今、ひどい状況にあります。特に市役所裏あたりはこれが川ですかと言いたくなる状況です。どうにかならんのかと多くの方々が嘆いてあります。</p> <p>2級河川である大根川は県の管轄であることは承知していますが、市内を流れる川であることから市の考えを伺いたいと思います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、今の大根川の状況をどう考えてありますか。 2、市内を流れる川としてどうしようという考えはありますか。 3、子どもたちが自由に遊べる水辺空間の創設を。 4、良好な景観維持のため川土手の草刈りを定期的に。 | |

| | | | |
|---|---|--|--|
| 議長印 |  | | 平成27年11月27日 午前・ 午後 時 30 分受付 |
| 一 般 質 問 通 告 書 | | | |
| 答弁を求める者 | 市長 | | |
| <p>古賀市議会会議規則第62条第2項の規定により通告します。</p> <p style="text-align: center;">平成27年11月27日</p> <p>古賀市議会議長 様</p> <p style="text-align: right;">古賀市議会議員 吉住長敏 </p> <p style="text-align: center;"> 議会事務局 27.11.27 収第11-1号</p> | | | |




| | |
|---|-----------------------------|
| 質問事項 (1件ごと) | 危険な個人のスズメバチ営巣駆除 で公助が必要では |
| 質問の要旨 (300字以内) | |
| <p>ハチの活動は夏から秋にかけて活発化する。その時期、凶暴なスズメバチに刺されて死亡する人は全国で30~40人とも。市の現状は個人でスズメバチ駆除するには困難かつ危険だと注意喚起と駆除業者の紹介のみに留まっている。</p> <p>この営巣リスクは一般住宅、空き家含め、誰しも特定できかねるもので、駆除の放置は市民生活を脅かしかねない場面が想定される。しかも今年9月、特定外来種の進入飛来が確認され、益々侮れない状況にある。この際、除去費について公衆の生活安全の面から一定の支援を講じるべきでは。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 市民からのハチに関する相談、対応の現状 2 公共施設に営巣の場合の対応 3 スズメバチ駆除と身近な公衆安全の保持 | |

| | | |
|--|---|--|
| 議長印 |  | 平成27年11月27日 午前・ 午後 時 30 分受付 |
| 一 般 質 問 通 告 書 | | |
| 答弁を求める者 | 市長 | |
| <p>古賀市議会会議規則第62条第2項の規定により通告します。</p> <p style="text-align: center;">平成27年11月27日</p> <p>古賀市議会議長 様</p> <p style="text-align: right;">古賀市議会議員 吉住長敏 </p> <p style="text-align: center;"> 議会事務局 27.11.27 収第11-2号</p> | | |




| | |
|---|-------------------------|
| 質問事項 (1件ごと) | 現行古賀市政治倫理条例の条文の見直しが必要では |
| 質問の要旨 (300字以内) | |
| <p>市政に関わる市長や市議会議員が公正で民主的な姿勢を以て遂行すべく自らの政治倫理、規律定めた古賀市政治倫理条例制定の沿革は20年前に遡る。</p> <p>しかしその後、“民間が担う公共”の公益法人制度改革や、公の施設への指定管理者制度の導入などが、自治体の事務事業運営手法に新たな変化をもたらした。現行の条例は、それら時代の変化の潮流に添う見直し措置が不十分と認識する。</p> <p>より市民から信頼される市政運営を期待することから以下について問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 制定以後、政治倫理審査会で審査された重要事項 2 条例の政治倫理基準を、より実効あるものとするべきでは 3 行政の適用範囲は副市長、教育長の特別職も対象とするべきでは。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 議長印 |  | 平成27年11月27日 午前・ 午後 1時30分受付 |
| 一般質問通告書 | | |
| 答弁を求める者 | 市長 | |
| <p>古賀市議会会議規則第62条第2項の規定により通告します。</p> <p style="text-align: center;">平成27年11月27日</p> <p>古賀市議会議長 様</p> <p style="text-align: right;">古賀市議会議員 吉住長敏 </p> <p style="text-align: center;"> 議会事務局 27.11.27 収第11-3号</p> | | |




| | |
|--|------------------------|
| 質問事項 (1件ごと) | 補助金制度の抜本的な改革実行は進展しているか |
| 質問の要旨(300字以内) | |
| <p>補助金制度の再構築に向けた古賀市補助金等検討委員会の最終答申をふまえ、古賀市の補助金そのものを抜本的に見直すとした改革実行計画が前市長任期中の2012年度に打ち出された。</p> <p>実行計画から3年経過する。全般的にどう進展しているか。また補助金は従来の実績にとらわれることなく、整理統廃合若しくは減額に努めることとある。来年度予算編成方針で掲げられた方向に関して問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 補助金改革の基本原則及び個別改善事項 2 補助金交付要綱を定めていない事業とは何か 3 コミュニティ活動支援の新たな補助制度の構築状況 4 終期の設定の制度設計の現状は 5 補助金基本条例の制定の目処は | |

| | |
|---|----------------------------------|
| 議長印  | 平成27年11月27日 午前・午後 1 時 40 分 受付 |
| <h2>一般質問通告書</h2> | |
| 答弁を求める者 | 市長 |
| <p>古賀市議会会議規則第62条第2項の規定により通告します。</p> <p>平成 27 年 11 月 27 日</p> <p>古賀市議会議長 様</p> <p style="text-align: right;">古賀市議会議員 古賀誠視 </p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>議会事務局 27.11.27 収第 12-1 号</p> </div> | |

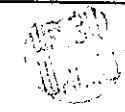
| | |
|--|---------------------------------|
| 質問事項 (1件ごと) | 古賀ゴルフ・クラブでの 日本オープンへの取り組みについて |
| 質問の要旨 (300字以内) | |
| <p>1. 2019年10月古賀ゴルフ・クラブで日本オープンが開催されます。古賀ゴルフ・クラブはJRししぶ駅をメインの交通手段として想定しており、期間中の観客4万人を目標にしているとの事、ししぶ駅からゴルフクラブ迄の道路は狭く歩道也没有ありません。大会開催中は人と車で大混雑が予想されます。事故防止のため大会開催迄に道路と歩道の整備に取り組むべきと思うが。</p> <p>2. 本大会を古賀市の地名と特産品、農産物等を全国にアピールする機会ととらえ古賀市の活性化にどう繋げていくか。市としてもゴルフクラブと協力し積極的に取り組むべきだと思うが。</p> | |

| | | |
|--|---|---------------------------------|
| 議長印 |  | 平成27年11月27日 午前・午後 1時40分受付 |
| 一般質問通告書 | | |
| 答弁を求める者 | 市長 | |
| <p>古賀市議会会議規則第62条第2項の規定により通告します。</p> <p>平成 27 年 11 月 27 日</p> <p>古賀市議会議長 様</p> <p style="text-align: right;">古賀市議会議員 古賀誠視 </p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> | | |

| | |
|--|----------------|
| 質問事項 (1件ごと) | 安心・安全の取り組みについて |
| 質問の要旨 (300字以内) | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 各行政区への自主防災組織防災資機材購入費補助事業が、平成27年度で終了との事であるが、市民の防災意識の維持向上とイザという時の備えのため今後も継続すべきと思うが。 2. AEDの普及を図り、緊急対応の強化を。 3. 古賀市の道路照明について、市が維持管理しているものが現在何基あるのか。古賀市内に防犯灯を含めて道路照明は全部で何基あるのか。今後設置に向けてどのように取り組んでいくのか。 | |

| | | |
|---|---|---------------------------------|
| 議長印 |  | 平成27年11月27日 午前・午後 2時30分受付 |
| 一般質問通告書 | | |
| 答弁を求める者 | 市長 | |
| <p>古賀市議会会議規則第62条第2項の規定により通告します。</p> <p>平成 27 年 11 月 27 日</p> <p>古賀市議会議長 様</p> <p style="text-align: right;">古賀市議会議員 村松 謙二 </p> <p style="text-align: center;"> 議会事務局 27.11.27 収第13-1号</p> | | |

| | |
|---|-------------------------------|
| 質問事項 (1件ごと) | 来年度、市民が望む公共交通へ変える財源の確保はどうするのか |
| 質問の要旨 (300字以内) | |
| <p>平成28年度予算編成方針の中に、「交通弱者に対する効果的な移動手段の確保のため公共交通の利用促進」とある。</p> <p>①「この視点でもって予算編成に取り組んで」とは、どんな意味を指すのか。またこれは担当課が独自判断で行うのか、市長の指示によるのか。</p> <p>②赤字補填方式は来年度も継続するのか。</p> <p>③西鉄グランドパス65の現時点の評価・効果は。</p> <p>④11月13日～15日に行った西鉄バス無料キャンペーン利用者実績は。</p> <p>⑤長期休み中の小中学生の無料バスや駅・図書館・市役所・サンコスモを結ぶコース導入を提案したいがいかがか。</p> <p>⑥10年後どういう公共交通体系が古賀市に実現出来ていればよいと考えるか。</p> | |

議長印  平成 27 年 11 月 27 日
午前・午後 2 時 30 分 受付

一般質問通告書

答弁を求める者 選挙管理委員会委員長

古賀市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により通告します。

平成 27 年 11 月 27 日

古賀市議会議長 様

古賀市議会議員 村松 謙二 






質問事項 (1 件ごと) 選挙における投票時間 2 時間の短縮について

質問の要旨 (300 字以内)

先の市長選挙及び市議会議員選挙の投票率は 50%を割り、投票率の低下傾向に歯止めがかかっていません。そういう現状の中、古賀市選挙管理委員会は、総務委員会へ報告をするやいなや、マスコミ (新聞・テレビ) を通して、来る参議院選から投票時間の締切をこれまでの 20 時から 18 時へと 2 時間も短縮変更すると発表をした。

そこで以下の 4 点について答弁を求めます。

- ①投票時間を 2 時間短縮した [特別な理由] とは。
- ② 18 時から 20 時の投票実績をどう把握し、認識しているのか。
- ③アンケート結果をどう把握しているのか。
- ④投票率が更に低下した場合、投票時間の繰り上げを見直す考えはあるのか。

| | | |
|---|---|---------------------------------|
| 議長印 |  | 平成27年11月27日 午前・午後 2時35分受付 |
| 一般質問通告書 | | |
| 答弁を求める者 | 市長 | |
| <p>古賀市議会会議規則第62条第2項の規定により通告します。</p> <p>平成27年11月27日</p> <p>古賀市議会議長 様</p> <p style="text-align: right;">古賀市議会議員 奴間 健司 </p> <p style="text-align: right;"> 議会事務局 27.11.27 収第14-1号</p> | | |

| | |
|---|------------------------------|
| 質問事項 (1件ごと) | フレッシュナートの活用 で考える職員集団の第一歩を |
| 質問の要旨(300字以内) | |
| <p>私は10月の松本市視察で、新規採用職員が職場や地域に馴染み、先輩とのコミュニケーションを深める興味深い取り組みに接した。また、理想とする将来像を描き、それを実現するために必要な政策を考える「バックキャスティング」手法を身に付ける自主研究の取り組みにも学んだ。</p> <p>そこで市長に提言し見解を求める。</p> <p>①来年度の新規採用職員から、半年間の勤務記録の提出、基礎知識等を身に付ける自主学習の制度(松本市のフレッシュノート)を導入したらどうか。</p> <p>②フレッシュノートを第一歩に、若手職員を中心に自主研究の機会を作ってはどうか。</p> | |

| | | |
|-----|---|---------------------------------|
| 議長印 |  | 平成27年11月27日 午前・午後 2時35分受付 |
|-----|---|---------------------------------|


一 般 質 問 通 告 書


| | |
|---------|----|
| 答弁を求める者 | 市長 |
|---------|----|

古賀市議会会議規則第62条第2項の規定により通告します。

平成27年11月27日

古賀市議会議長 様

古賀市議会議員 奴間 健司 



議会事務局
27.11.27
収第 14-2 号

通告者氏名 奴間 健司 No.2/2.

| | |
|----------------|------------------------------|
| 質問事項 (1件ごと) | 2025年問題への備え 古賀市の切り札は健康と地域 |
|----------------|------------------------------|

質問の要旨 (300字以内)

- ①バックキャストイング手法による先行投資、メリハリある重点配分が必要。市長の将来展望を尋ねる。その裏付けとなる長期財政フレームの策定はどうか。
- ②枠配分予算方式の一時中断の背景や目的、10年間の同方式の総括は。計画行政につながるか。市民の暮らしに負の影響はないか。
- ③切り札は健康と地域。2025年までに安心とアクティブな地域の仕組みづくりが必要。小学校区単位の担当保健師やコミュニティコーデイネーター、各区推薦による健康づくり推進員等の確保が戦略課題ではないか。
- ④保健師の補充、計画的確保を9月議会で提案した。来年度予算編成が節目でそれまでに何らかの形は出るとの答弁だったがどうなったか。

